

〈人口〉
男 9,017人
女 9,224人
計 18,241人
世帯数 4,116戸

広報あまのり

麻生町役場蔵刷
麻生町1561-9
電話(0811)代

発行所
麻生町
印刷所
麻生町

2月のメモ

- 1日 統計調査員協議会総会
- 町民税徴収
- 8日 献血
- 10日 税務協議会役員会
- 11日 建国記念の日
- 15日 健康優良児表彰式、町民税申告相談開始
- 16日 国民年金相談日
- 17日 農業委員会総会
- 21日 教育委員会、議員協議会
- 23日 選挙管理委員会
- 24日 例月出納検査
- 28日 国保税・国民年金保険料徴収

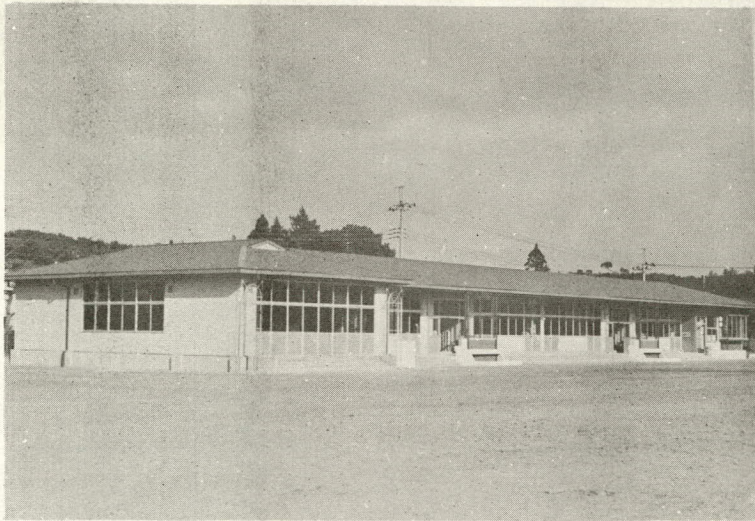
麻生幼稚園

近代的な園舎が完成

町立麻生幼稚園の園舎が完成し、さる一月二十七日、新しい園舎で竣工式をおこないました。

これまでの園舎は、老朽化がはなはだしく、園児の増加に伴ってその活動も充分に発揮できないところから、麻生小学校隣に改築工事が進められてきました。

この園舎は、昭和五十一年八月四日から十二月二十日まで



明るく近代的な新しい園舎

農業者年金制度の改正

農業者年金基金法の一部を改正する法律が昭和五十一年六月四日公布されました。その改正の主な内容は次のとおりです。

一、年金給付額の引き上げ

経営移譲年金と農業者老齢年金の額が現行の一・四八倍に引き上げられました。この結果六十歳から六十四歳までの間に支給される経営移譲年金の額は、五年加入者で月額一万七千六百円が二万六千円に引き上げられ、農家に

二、保険料の改定

年金額の引き上げに伴い、保険料の額も改定されることになりました。しかし、一挙に引き上げることは、農家に

現行 (1ヶ月分)	改正後(1ヶ月分)		
	期 間	一般 一保険者	特 後継者
1,650円	52年 1月~12月	2,450	1,750
	53年 1月~12月	2,870	2,050
	54年 1月以降	3,290	2,350

すので次のように三年計画で段階的に引き上げていくこととされました。

農村婦人の声を県政に――

四鹿で知事を囲む広聴集会

さる一月二十六日、四鹿の大鷲会館で知事を囲む広聴集会が開かれ、農村生活に密着した多くの問題について、活発な意見が交わされました。

この集會は、広く県民の声を聞き県政に民意を反映させるとともに、県政への理解を深めて、よりよい郷土づくりを推進しようと県が実施しているもので、今年には特に農村婦人を中心に集會が実施され

ているものです。

こんど対象となった四鹿地区は、茨城県が国の事業に先がけて、昭和五十年度より独自で実施している地域営農総合整備事業の実施地区にあたります。四鹿地区はこの事業の中で婦人部を組織し、十二名が推進員となつて約五百五十戸の生活改善等の推進を図っております。

集會には、この婦人部代表

三、農業後継者に対する措置

(1) 保険料の軽減

将来、農業の中核的な担い手となるような後継者の加入を促進し、その育成確保を図っていく措置として次のような条件にあてはまる人が申し出れば、特定後継者として一般の被保険者の保険料よりも三割程度軽減されることになりました。

そのため保険料提出時の国庫補助率は5/10(一般の人は3/10)に引き上げられました。

(イ)三十五歳未満であること。

第六回臨時町議会

一般会計補正予算

四千八百万円を追加

で工事がおこなわれ、敷地面積四、〇〇〇平方、建築面積五〇八平方の鉄骨平家建て保育室四室のほか遊戯室、職員室等を備え、百四十名を収容できる明るい近代的な建築です。

本工事費四千百万円と園具整備費等をあわせて五千三百十百万の経費をかけて完成したものです。

恵まれた環境の中で、ますます充実した幼児教育が推進され、やがて心身ともにすこやかな子どもたちが巣立つていくことでしょう。

昭和三十五年年度麻生町一般会計補正予算

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ四千八百万円を追加し、歳入歳出それぞれ二十二億五千三百十百万としたものです。



集會のひとコマ

春の火災予防運動

2月28日～
3月13日

火災は人災
防ぐはあなた！

「潮来花嫁さん」を唄うなど、なごやかなふんい気の中で、集會は四時四十五分終了しました。

働く農村地域婦人のさやかな願いが県政に大きく反映することを期待します。

- (2) 経営移譲の要件の改正
- 後継者に対する経営移譲の場合、自作地についてはこれまで所有権を移転する
- (3) 本人が農業に常時従事していること。
- (4) 親の経営規模が県の平均経営規模以上であること。
- (5) 本人が農業に常時従事していること。
- (6) 経営移譲の要件の改正
- 後継者に対する経営移譲の場合、自作地についてはこれまで所有権を移転する

〔善〕
〔意〕

善意銀行へ次のかたが預託されました。

宇崎の江口金三郎さんは、大和第三小学校へえんぴつ十五ダース。

岡の市塚善春さんは、大和第三小学校へさつき百五十鉢。

岡老人クラブは、大和第三小学校へさうきん百十枚、竹ぼうき十本。

岡の箕輪文男さんは、大和第三小学校へ砂場枠用柱四本。

三月定例農業委員会への申請は
三月五日までに

農業委員任期満了に伴う選挙が三月中に行われるので三月の定例総会に提出しようと思う申請書は三月五日までに農業委員会事務局で手続きをしてください。

なお、四月以降の分については例月とおり毎月十日までに申請手続きをしてください。

町県民税
所得税

申告は三月十五日までに

〔町県民税申告の日程〕

対象地区	期	日	時	間	会	場
麻生	三月四・五・七・八日	前九時後四時	役場第二会議室			
太田	二月十六・十七日	"	太田公民館			
大和	二月六・九日三月三日	"	大和公民館			
行方	三月九・十日	"	行方公民館			
小高	三月十一・十二日	"	小高中央公民館			

〔所得税申告の日程〕

対象者	期	日	時	間	会	場
農業者	二月三・三・三・三	前九時後四時	役場第二会議室			
漁業者	二月三・三・三・三	"	"			
少額業者	二月三・三・三・三	"	"			
会場役場	三月二日	"	"			
指定の者	"	"	"			
農業者	"	"	"			

日頃、納税につきましてご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

本年も町県民税の申告時期がまいりましたので、次の日程により申告納税相談をおこないます。

申告については、昨年と同様、所得税の確定申告書を提出するかたは、町県民税の申告は必要ありません。また、事業税の該当者で町県民税の申告書を提出するかたは、事業税の申告書を提出する必要があります。

その他、詳しいことは税務課でおたずねください。



麻の広場

ゴミの不法投棄をなくして

井貝 額賀 瑞枝

正月七日の寒空に井貝地区婦人会員三十七名は、手に手に肥料用空袋をさげて、三台のりやカーをひき、道路沿いの空カン、空ビン、ビニール等を午前九時を期して、部落のあちこちより集め始めました。

以前より私たちの部落は山道が多く人家の少ないところでゴミ不法投棄としては、大変格好の場であり、大きなゴミ山は名物でした。これを区長さんの先導で完全清掃をし児童公園として生まれ変わったのをきっかけに、第二、第三のゴミ山を婦人会の手で清掃を始めました。

それからは部落の人は山沿いにゴミを捨てなくなりまし



部落内から集められたゴミ

た。今では車から投げ捨てられるものくらいですので、全部落一時間もあれば、きれいになってしまいます。

ささやかな食事を用意して一同で食べながら、いろいろな話題に花を咲かせます。心から「ありがとう」といわずにはいられません。

一人の力は弱くとも、この結果集めた力は完全に不法投棄をなくしました。こうした取るにたらないようなことから、この小さな波紋が麻生

「麻生の文化」

第九号発行

麻生町郷土文化研究会（会長 辺田貞喜）の編集による「麻生の文化」第九号がこのほど発行されました。

第九号には「麻生町における方言」や、そのほか興味深い内容の研究結果がたくさん盛り込まれています。

発行部数 七〇部
価格 一部七〇円
ご希望のかたは、教育委員会または立原書店でお求めください。

三月の療育相談

日時 一日（火）午後一時～二時
場所 潮来保健所

戸籍の窓口

おめでとうございます

出生者	世帯主	住所	関川 順子	仁 小
高崎 正臣	正 己	富田 前川	和正 五郎	高 南
滑川 知子	秋 薫	鴨下 真吾	吉 隆	行 方
栗原 正一	留 雄	関野 昌男	運 助	方
渋谷 仁美	多 美	おくりやみ申し上げます		
菅谷 隆司	シメ 麻	死亡者	世帯主	住 所
岩崎めぐみ	宗 三	小倉 唯男	62市之助	富 田
大盛ゆかり	芳 直	実川 松太郎	92 昇	麻 生
藤原 純子	甲子一	桜井 実	71 栄	夫 麻
樽見 純子	尚 博	笹原 ヨテ	84中田栄治	磨 生
岡部 貴子	尚 文	今井 ふゆ	82志 磨	治 生
増田 雅彦	常 吉	藤上 とよ	67元 治	男 生
新橋 大輔	茂 信	増田 満	0 国	男 生
堀越 康弘	七之助	荒野 ふで	90勝 正	白 浜
坂本 栄子	孝 孝	内山 りん	86芳 雄	四 鹿
根本ユキ子	正 夫	額賀 幸重	76利喜雄	小 高
金田日出子	貞 安	川島 ハツ	87利 正	行 方
		関野 かの	87運 助	方

国民年金の保険料が

一千二百円に!!

国民年金の保険料が、今年四月から一ヶ月二千二百円に改められます。

国民年金は、給付費の三分の一を国が負担していますが、昨年十月から老齢年金を初めとして、各種年金の額が大幅に引き上げられたこともあって、かなりの保険料引き上げ

県下唯一の通信制高校

入学者を募集

県下でただ一つの通信制課程をおく県立水戸南高校では、全日制や定時制高校への進学が、距離や時間その他の事情で困難なため、五十

二年度の入学者を次の要領により募集しています。

●通信制の特色

●募集人員 普通科 約三百名

俳句

筑波嶺の腰に雲巻く枯野かな
水透ける小川一筋枯野原
例れ来る山影踏みて枯野行く
落陽のかすみとなりし枯野かな
北風のまくして来るや枯野を
野は枯れて光る線路の先細く
朝の陽にきらめく霜や枯野原
野は枯れて利根は三筋となりけり

短歌

小夜更けて風変わりしか山峡の
豚舎より豚の鳴声きこゆ
粗皮のたくまじきかな産土の森に
生ひたつ杉の巨木は
肩の荷をおろしてかき年のくれ
記念に享けし本の重きよ
大根にも菜にもこころを漬けこみて
茜づく湖ゆく船を指さして
童画のごとたつ母と幼児

羽生たけ子
新橋 稔
箕輪徳二郎
箕輪 登美
小沼 芳江